

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	つくし療育ホーム		
○保護者評価実施期間	令和6年10月1日		～ 令和6年11月5日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	12	(回答者数) 9
○従業者評価実施期間	令和6年10月1日		～ 令和6年11月5日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○事業者向け自己評価表作成日	令和6年12月26日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・保育士、作業療法士、理学療法士と様々な職種が在籍していること。	・専門性に特化した活動や支援を行うため、それぞれの職種で役割を分担したり、専門性をかけ合わせて子ども一人一人の成長に応じた支援をしたり、多様な方法を取り入れています。	・それぞれの職種の専門性を高められるように、事業所内での研修を実施する等、自己研鑽に努めてまいります。
2	・親子通園のため、支援に必要な知識や関わり方をその場で保護者に伝える事ができること。	・その場で子どもの成長や課題を保護者と共有し、共通理解のもと対応しています。また、相談があった時には、その都度助言、面談を行っています。	・子どもや保護者の要望を参考に、適切な目標の設定と、支援の実施に努めてまいります。
3	・公立の事業所のため、市役所の関係機関や施設等と連携しやすいこと。	・早期療育相談や市役所の母子保健・子育て支援部門と密に連絡を取ることで、連携体制を構築しています。	・引き続き関係機関と連携し、支援に努めてまいります。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・バリアフリーに対応できていない所があること。	・施設が古く、建物の構造上難しいため。	・バリアフリーになっていない場所は、安全に移動ができるように職員が介助することで対応してまいります。
2	・地域住民との交流がなく、地域に開かれた事業運営を実施できていないこと。	・感染症対策に不安が残るため。	・行事の内容や開催手段等を検討してまいります。
3	・利用者のニーズに応えた専門職による個別指導の実施が難しいこと。	・指導員が必要最小限の配置基準のため。	・必要な人員配置に努めてまいります。 ・特別日課等で、個別指導のみを実施する日程を設けて対応してまいります。